



市民活動交流フォーラム

「NPO・ボランティア シンポジウム」

平成27年1月18日(日)午後1時から
 犬山市福祉会館で「市民活動交流フォーラム」
 を開催した。

第1部は、シンポジウム「犬山のNPO・
 ボランティア活動」で、犬山市レクリエーシ
 ョン指導者クラブ代表尾藤定さん、郷瀬川清
 流会代表木藤久さん、犬山要約筆記サークル
 ともだち代表高木啓子さん、城東小学校区コ



ミュニティ推進協議会相談役丹羽慎一郎さん、犬山西地区コミュ
 ニティ推進協議会事務局長市川隆司さんから、活動状況、事業の具
 体的な進め方、事業を共同で実施することの有無、団体グループの課
 題などを出し合い、ボランティアの人たちがどのように活動してい
 るかを提示していただいた。

コメンテーターの榎田先生から、イベントの開催に当たっては、
 ①参加して楽しいものか? ②活動自体が自分の為になり、他人の
 為になっているか? ③地域にとって大切なものか?を十分検討す
 ることが大切とアドバイスをいただいた。

コーヒータイムの時に、鳴子チーム“笑舞”が演技を行った。大学高校生の元気な姿に接する
 ことができた。

第2部講演では、愛知淑徳大学の榎田勝利教授から「ボランティア活動から得られるもの…」
 と題してお話をいただいた。

☆アメリカでは「ボランティア」とはコミュニティサービスで社会に参加する事と受けとめられて
 いること。自らの思い、自己実現を図る場であり、そのための行動である。

☆大学生はボランティアしたい人はいるが、「入っていくきっかけがない」と殆どの学生が答え
 ている。

☆ボランティアにやさしい組織とは?①組織の使命、存在理由が有給スタッフやボランティアに
 まで理解されている。②ボランティアの仕事が、組織の目指す使命や目的を果たすうえで必要
 不可欠な存在として捉えられている。③変化を恐れないオープンさがあり、より良い仕事をし
 ようという意欲が見られ、ボランティアの経験から学ぼうという意識的・組織的な努力が見られ
 る。など団体・グループの人たちにはボランティアに対する考え方を新たに見直す機会になった。

第3部 東北物産展、パネル出展者とのコーヒーを飲んでの交流会が開催され、午後5時半
 に終了した。(記事:川島)

「木曾川源流・冬の交流合宿」

『白銀の世界のなかで 思いっきり 遊びまわり、感動体験をしよう』

平成27年1月10日(土)～12日(祝日・月)まで、高山市清美町大原で「白銀の世界のなかで、思いっきり遊びまわり感動体験をしよう」のテーマに集まってくれた子ども23人は、全員このテーマを楽しむことができた。

子ども達に、楽しさを与えてくれたのは、現地のスタッフ3人、当会のスタッフ10人、愛知淑徳大学小島ゼミ生5人のお蔭です。心より感謝をささげます。ありがとうございます！

<1日目>高山市清見の「おっぱら自然体験センター」が活動拠点。まず2班に分かれ班旗作り、グループの目印の班旗ができて、班長も決まりました。初日は、本格的な「かまくら作り」として『イグルー』というドーム型の家づくり。雪質がさらさら過ぎて固まりにくかったのですが、朝から快晴だったので、表面の雪をかき集めて、少し小さめのイグルーを作りました。雪を掘って箱に詰めて運ぶという大変な作業を、子どもとスタッフがみんな一緒に頑張っ、班ごとに一つずつ、かわいく飾り付けされたイグルーが二つ出来あがりました。

夜は、イグルーをロウソクでライトアップ☆ 暗闇に浮かぶイグルーは幻想的♪ 中に入って不思議な空間を楽しんだ後は、みんながもっと仲良くなるために、交流会をして楽しくふれあいました。



<2日目>メインの1日かけての「カンジキ山登り」。スノーブーツに、雪の上を歩く道具「カンジキ」を取り付けて、いざ山登り！尾根までいっきに急な坂のジグザグ道を登ったら、後は尾根をひたすら登り、おっぱらが一望できるポイントを目指します。約2時間、スタッフの力も借りながら登り着いたゴールから見える集落は絶景…のはずでしたが、雪が降っていてモヤがかかり風も吹いていて、景色はちらっと見たら、風の当たらない森の中でお弁当をいただきました。雪と風の中、みんな最後までとても頑張っゴールにたどり着いてよかったです。

ペットボトルでランタンを作ったが、夜は吹雪になったので森へ出かへずに、暗くした体育館でランタンを灯し、とてもきれいなイルミネーションを楽しんだ後、ラジコンのミニ熱気球の操作を体験しました。気球が膨らんで浮かんだ時は大歓声があがり、バーナー

の操作をみんな楽しんでました。

<3日目>最終日は、ふかふかの雪の斜面で、現地スタッフが作ってくれた特別コースを大きなビニール袋をソリの代わりにして滑ってあそびました。かなり傾斜のきつい坂なので、ものすごいスピードで滑り降りていました。みんなとにかく雪まみれになって大はしゃぎしました。今年は雪が多かったなので、とにかく雪とじゃれあう楽しさをいっぱい味わうことが出来たようでした。



みんなとてもいい顔をして三日間を過ごし、少したくましくなった感じがしました。犬山しみんていの会の目的は十分達することができたと思います。

現地の人たちやスタッフの人たちに本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

子ども大学活動成果発表会

平成27年2月1日(日)午後1時30分から犬山市民文化会館で、「子ども大学成果発表会」がありました。参加者は、子どもと保護者併せて約350名でした。

昨年の6月から今年の1月にかけて開催していた講座の成果発表会です。20講座の子ども達が舞台での発表や、作品の展示をして、1年間の活動成果をしっかりと発表していました。

最初は、「日本文化にふれよう！お茶・お花」で、お茶のお点前を舞台上で再現してくれました。お花は、会場ロビーにきれいに活けられていました。

「生き物探検隊クライマックス」では、4回バスで市外、県外に出ていろんな生き物にふれた喜びを語っていました。

「冒険教室 上級編」では10回の内、一泊二日の宿泊3回、午前9時から午後4時までの活動4回で、子ども達は長い活動に加え、いろんな変化に飛んだ、例えば「川遊び」、「段ボール筏」で川を渡る「源流を探索」したり、火やナイフ、ロープの使い方を習ったり、山越えのハイキング、1月の耐寒キャンプと内容豊富でした。子ども達はこの10回の活動で、一段とたくましくなると確信しています。苦しいことを乗り越えると楽しみも倍加し、君の心の中は達成感と宝物をたくさん詰め込んだこととなります。子どもは『テントを張るのが楽しかった』『協力することの大切さを学んだ』と感想を述べていました。

「国際理解」では、いろんな国のきれいな民族衣装を着た子ども達が、とても華やかでした。

「絵画教室」では、等身大の全身の自画像を高く掲げて順次移動して見せてくれました。とても楽しく、壮大でした。「原始人クラブ」の火起こしも見ものでした。

最後の、「太鼓を楽しくたたこう」は、さすが舞台が揺れるほど迫力があり、たたいている子どもも必死でした。

楽しい、思い出をいっぱい含んだ「活動成果発表会」でした。



イベント等の立て看板や横幕、ポスターの印刷、
 パワーポイントやチラシなどのパソコンのデータ作成、
 ご注文・ご相談を、お受けしています♪

「拡大印刷」（ポスター・横断幕・立て看板等）

※「文字のみ」

| | |
|-----------|---------|
| <A2・B2> | 500円 |
| <A1> | 1,000円 |
| 長尺（単位：1m） | 1,000円～ |

※「イラスト」及び「写真」

| | |
|-----------|---------|
| <A2・B2> | 700円 |
| <A1> | 1,200円 |
| 長尺（単位：1m） | 1,200円～ |

「名刺」印刷

| | |
|------|------|
| 100枚 | 700円 |
|------|------|

「データ作成サービス」

（目安の料金ですので、事務局にご相談ください。）

| | |
|-----------|--------------|
| チラシ及びポスター | パワーポイント |
| 500円/1面 | 4,000円/20ページ |

託児を頼みたいグループ、
 行政の方
 「しみんてい」へどうぞ
 ご連絡を！



★NPO法人犬山しみんていの会では、若いお母さん方が小さな子供を預けて勉強したり、社会で活動するために、子供達を安心して預けられる、託児ボランティアの派遣をはじめました。お気軽に、声をおかけください！！

<費用> 派遣託児ボランティア：1人1時間当たり800円